

親子で楽しむ

ス テ ィ ー ム

STEAM教室

いろいろなブロックを組み合わせて、オリジナルのゴム動力で走る車を

つくろう！ 最後はみんなでレースに挑戦！

子育て通信

【冬季号】
令和8年
1月発行
(季刊)

小学1～3年生

親子で

日曜開催

参加無料

3 / 8 (日)



レースに
どきどき!



画像提供：東京学芸大こども未来研究所

午前の部 10:00～12:00

午後の部 14:00～16:00

対象：区内在住・在学の小学校1～3年生とその保護者
(2人1組)

参加費：無料

講師：大谷 忠 氏

(東京学芸大学大学院 教授 / 東京学芸大こども未来研究所 理事長)

定員：【午前】30組60人

各回とも、希望者多数の場合は抽選

【午後】30組60人

会場：墨田区役所13階131会議室

持ち物：筆記用具、飲み物

活動中の様子について写真や動画撮影を行い、次年度の募集案内のため、区ホームページへの掲載や受託事業者の広報活動等で利用する場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

参加申込み ～2月2日(月)午前9時から～

- ▶ QRコードから申込み または
- ▶ 以下の《必要事項》を記載の上、メールで申込み。

(メールを送信した際は、到着確認のため必ず下記担当まで、電話連絡をお願いいたします。)

《必要事項》

お子様と保護者の氏名・ふりがな
お子様の学年
住所・連絡先(電話/メールアドレス)
参加を希望する回(どちらか1回のみ)

お申し込みはこちら！

応募〆切

2 / 1 3 (金)



問合せ・申込み先

墨田区教育委員会事務局 地域教育支援課 03-5608-6503 ✉CHIHIKIKYOUIKU@city.sumida.lg.jp
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20(墨田区役所11階)

子育て支援コラム

～子どもの自己有用感を育むために～

「自己有用感」といった言葉を、近年、教育の現場でみるようになってきました。これは子どもの社会性を育むために欠かせないものです。本コラムでは「自己有用感」について紹介します。

「自己有用感」とは、「自分は周りの人の役に立っている、頼りにされている、貢献している」と思える感情のことを言い、他者との関わりや交流の中から生まれます。

日々の家庭生活での親子のコミュニケーションを通じ、「ありがとう」や「嬉しい」などの思いを言葉で伝えることにより、子どもは「自分をいつも見ていてくれる、認めてくれている」と認識し、それが自己有用感につながります。

例えば家事のお手伝いやきょうだいの世話など、普段の出来事や行いに対して感謝をすることで子どもの自己有用感が高まります。



自己有用感が高くなると、自分の良さを自覚し他人を思いやる心が育ちます。そうすると協力して行動ができたり、積極的に自分で考えて行動ができたりなど「社会性の基礎」が形づくられていきます。

家庭でお子さんとの対話の時間を大切にして、できるところから感謝を伝えてみてはいかがでしょうか？

お子さんに対し「どんな言葉をかけてよいか分からない」、「気持ちを効果的に伝えたい」などの時は、文章にしてメッセージカードや表彰状などを渡すなど、趣向を凝らして伝えることも良いでしょう。参考として表彰状のフォーマットを作成しましたので、是非、御活用ください。

【参考（例）】

表彰状	
様	
あなたは、きちんとお手伝いが出来たので、感謝するとともにここに表彰いたします。	
年	月 日
より	

表彰状の作成のポイントは？

家事のお手伝いは、そうじ（ゴミ出し、お掃除、お風呂掃除など）、洗濯（洗濯物をたたむ、洗濯物を取り込むなど）、料理（食器洗い、調理、食事の配膳など）など、成果を具体的にしてお礼を伝えるのも良いかもしれません。

またプロセスや成長（前回より上手くできた、早くできた）を伝えてもよいでしょう。



表彰状のフォーマットは下記の QR コードから読み取り、子育て通信の令和 7 年度中にある「表彰状（記入用紙）」を選択いただきご利用ください。

墨田区役所 WEB ページで「トップページ＞子育て・教育＞地域教育支援事業＞「子育て通信」でも検索できます。

